

日刊 勤労千葉

84. 1. 27

No. 1549

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電) 二九三五(六)・公衆 〇四七二(二二)七二〇七

代支部3回 報告(その2)

3.25三里塚 起決 確議 勤乗勤改悪阻止

勤労千葉は一月二四日、第三回支部代表者会議を開催し、「59・2ダイ改」闘争を総括し当面する取り組みを決定しました。(「I情勢」「II総括」は前号で既報)
「III当面する取り組み、及びスケジュール」については次の通りです。

III 当面する取り組みについて

1. 勤乗勤改悪阻止の闘い

一九八二年一月、当局は「動力車乗務員の勤務等の改正について」の提案を行ってきました。

この「改正」の内容は、「内達一号」「18協定」「諸通達」等、動力車乗務員の勤務制度の一切をひとつにまとめ、「労働時間」「超過勤務」「待合わせ時間」「一継続乗務キロ」「一基準日当り乗務キロ」等を限度いっぱいまで引きあげ、「働き度」を高めることを通して国鉄労働運動の中軸を担う動力車乗務員を屈服させ、国鉄労働運動解体―二〇万人台体制の実現を狙う攻撃です。

勤労千葉は提案を受けて以降、乗務員分科会・内達対策委員会を中心に討論を積み重ね、「申第13号」をもって団体交渉の中で提案の不当性を追及し、勤乗勤改悪の改善要求の実現にむけて闘ってきました。

とりわけ、「59・2実施」をめざす当局は、八三年六月の全国戦長で「働き度不足はクリア―し六月中に集約」との裏切り方針を決定した勤労「本部」革マルを尖兵に、六月中決着をせまりましたが、団交を中心とする総力をあげた闘いで、「59・2実施」を阻止しました。

当局は七月一日、「職労第一九五号」を各組合に提示し、「有効期限の定めのない協定等の取り扱いに関する協定」および、労組法第15条にもとづく取り扱いをする意志表示をし、七月一日強行実施を狙っています。勤労千葉は当面、乗務員分科会を中心に各支部で職場討議、学習会等を取り組み、二月九日に内達対策委員会を開催して意志統一を図り、第八回定期委員会で最終的取り組み方針を決定します。

なお、「申第4号」にもとづく運転保安交渉、一月一九日の雪害による運転保安問題で勤乗勤改悪の矛盾を浮きぼりにする取り組みを図ります。

2. 84春闘勝利へ向けた取り組み

83春闘は惨たんたる結果に終り、国鉄においてはわずかばかりの定昇(二月二九日)、ペア(三月一九日)がやっと支給される状況にあります。

そして、84国民春闘共闘会議が「六%以上」の賃上げ要求基準を決めたことに対し、日経連は「ペアも定昇もゼロ」「二〇三%の定昇のみ」等の強い対応にでており、闘う側の足並の乱れも含め84春闘をめぐる情勢は厳しいものがあります。

59年度末国債残高一二〇兆円に示される財政破綻―体制的危機を、「戦後政治の総決算」をかけた、一切の犠牲を労働者・人民に転嫁することで解決せんとする反動中曾根の攻撃に対しては、中曾根内閣打倒の視点を持って闘わぬ限り、大巾賃上げをかちとることもまた不可能です。

84春闘の山場は四月中―下旬に想定されますが総評・県労連の春闘行動に参加し、「生活実態」「84賃上げ」調査により「84新賃金要求」をまとめるとともに、3・25三里塚集会を成功させ情勢の盛りあげをはかります。

3. 3・25三里塚現地集会にむけた取り組み

世界は戦後体制の崩壊的危機のもとで、世界戦争の爆発にむかつて恐るべき危機的情勢を深めています。体制的危機にあえぐ日帝は、侵略のための軍事大国化・改憲―「戦後政治の総決算」をかかげた超反動攻撃を強行してきています。

とりわけ中曾根は重要課題である、三里塚勢力の解体、二期着工に全力をあげており、長谷川・沼田会談による二期着工合意、一期強行の張本人・細田の運輸大臣登用、千葉二区から水野(建設)

(裏へつづく)

芝山町議選 候補の当選を 鈴木幸司 頼を！

芝山町在住の知人に投票依頼を！ 本部に知人紹介を！

空港推進派や条件派・脱落派の妨害をうち破って、反対同盟を代表して鈴木幸司候補は連日奮闘しています。(2月11日投票日)。勤労千葉も推せんを決定し支援しています。

「山武郡芝山町」に親せき・友人・知人等のある方は、支部又は本部にご紹介下さい。そして「鈴木さんをお願いします」と電話・手紙等でどんどん投票依頼をお願いします。